

2015年1月29日/エコイプス

## 2014年度 紙パックリデュース調査結果報告書

### 1. 調査の目的と方法

1.1 調査目的: 2013年度における牛乳500ml用(ミルクカートンスペック)紙パックのリデュース率を求める。

前年度までは飲料種類で「牛乳500ml」のみを対象とした。

本年度からは「牛乳500ml」に「発酵乳等」を加えた「牛乳500ml用」とする。

1.2 調査方法: 紙パックメーカー7社の当該紙パック原紙坪量とリデュース率をアンケート調査する。

対象7社は次の通り

日本製紙株式会社  
日本テトラパック株式会社  
石塚硝子株式会社  
大日本印刷株式会社  
凸版印刷株式会社  
北越パッケージ株式会社  
東京製紙株式会社

上記調査結果と基本調査による各社販売量をもとに加重平均坪量とリデュース率を求める。

なお、本年度から牛乳500ml用を対象としたことから、これまでの年度について再計算を行った。

1.3 各社からの回答期間: 2014年6月から同年8月

1.4 機密保持: 各社の個別データは厳秘とし、エコイプス社担当者のみがこれを閲覧できることとした。

### 2. 調査結果

2.1 2013年度牛乳500ml用の坪量とリデュース率(2005年度基準)

|                  |                     |
|------------------|---------------------|
| 平均坪量(加重平均値)      | 309g/m <sup>2</sup> |
| リデュース率(2005年度基準) | 1.6%                |

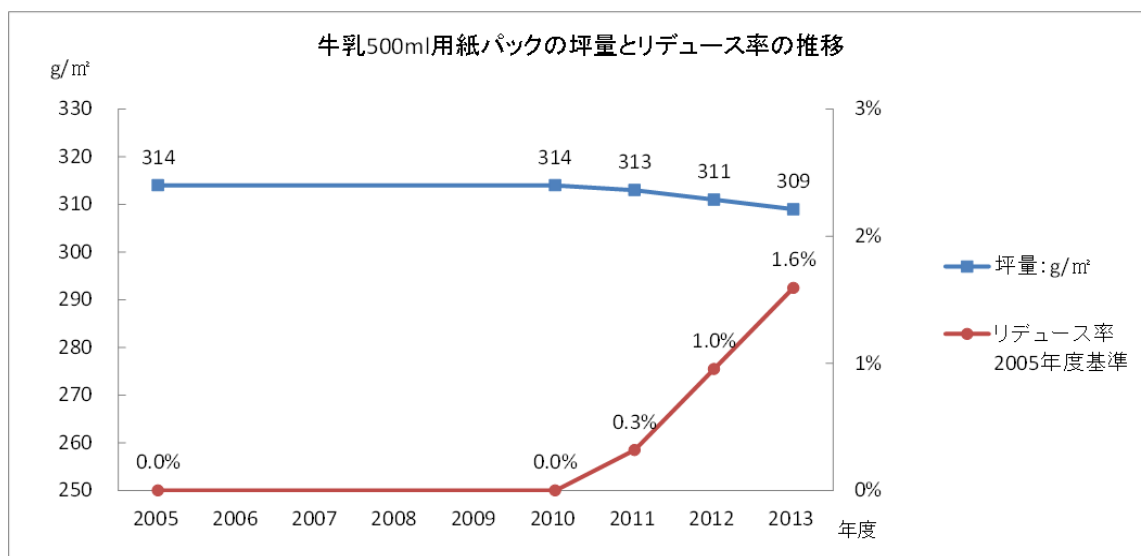
2.2 牛乳500ml用紙パック坪量とリデュース率の推移

2013年度の坪量は309g/m<sup>2</sup>であった。

2005年度から5g/m<sup>2</sup>、前年度の2012年度から2g/m<sup>2</sup>減少した。

これに伴い、リデュース率は2005年度基準で1.6%となった。

また、前年度リデュース率1.0%から1.6%と0.6%上昇した。



## ■ 補足及び考察

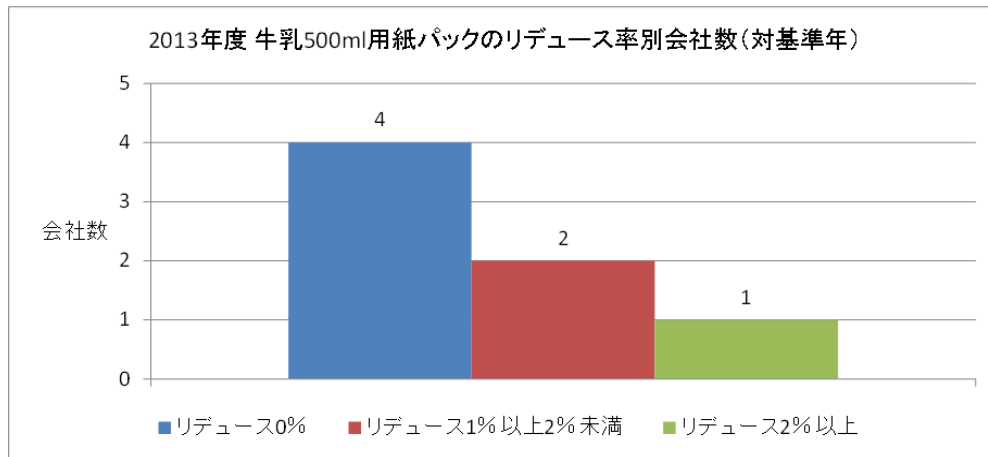
### (1) 回答7社のリデュース状況

回答7社の2005年度基準,及び前年度比のリデュース状況は次の通りである。

リデュース(坪量減少、2%以上):1社

リデュース(坪量減少、1%以上2%未満):2社

変化無し(平均坪量同じ):4社



### (2) 回答7社の平均リデュース率

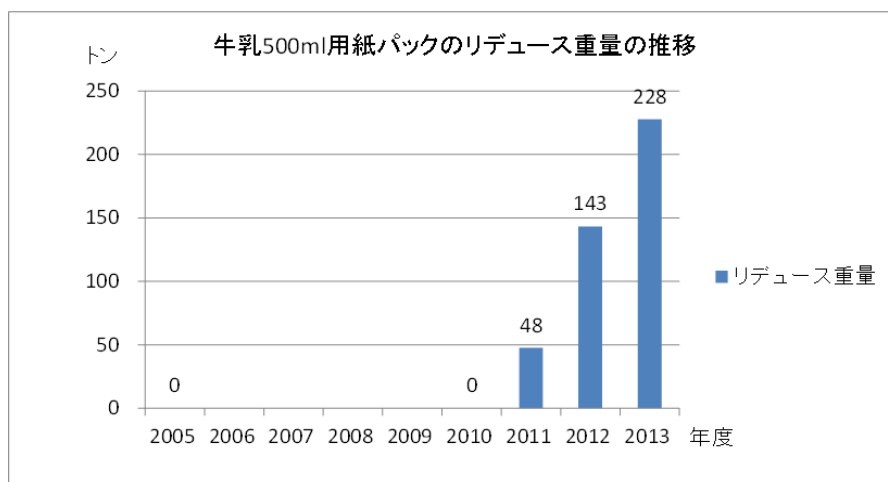
回答7社の加重平均をしない単純平均リデュース率は、0.8%である。

### (3) 2013年度のリデュース重量

仮に各社が2005年度 of 原紙を継続使用した場合と比較し、リデュース重量を求める。

※2013年度販売量 × (1-2013年度坪量 ÷ 2005年度坪量)

|                    |       |
|--------------------|-------|
| 2013年度のリデュース重量     | 228トン |
| 2013年度までの累計リデュース重量 | 419トン |



### (4) 牛乳500mlのみのリデュース率

前年度まで対象の牛乳500mlの坪量及びリデュース率は、各年度ともに牛乳500ml用と同値である。

牛乳500mlのみのリデュース重量は各年度ともに牛乳500ml用リデュース重量の約9割である。

以上